

とが増えると、イオンモール
 榎原とのさらなる連携は、よ
 り一層の相乗効果を生むもの
 と考えられる。イオンモール
 榎原のみならず、多方面での
 連携を視野に入れ、観光力の
 強化を図っていききたい。

問 新沢千塚古墳群や菖蒲池
 古墳、船付山などを広域的な
 自然公園として捉えての活用
 方法を市として何か考えてい
 ることはあるか。

答 本市内に位置する菖蒲池
 古墳、丸山古墳、植山古墳、
 小谷古墳、益田の岩船、沼山
 古墳、榊山古墳、新沢千塚古
 墳群、明日香村の牽牛子塚古
 墳、真弓鐘子塚古墳等々、そ
 して解体を予定している白檀
 市配水地が近くにあり、これ
 らを含めた広域的な古墳をめ
 ぐる周遊ルートの設定や、遊
 歩道の整備の構想を課題も多
 いと思うが、観光力の強化
 といった面で、研究、検討に
 値するものと考えており、研
 究を始めたところである。

問 一町配水場周辺には、公
 社の土地が多くあるが、スポ
 ーツリゾートの観点から、
 もう一歩進んだ活用方法は考
 えられないか。

答 現時点では具体的な活用

の方向性は出ていないが、古
 墳等に近接している関係もあ
 り、当該土地を有効活用すべ
 く、多方面での研究、検討を
 していきたい。



一般質問

亀甲 義明 (公明党)

**安心・安全な
まちづくり**

問 通学路の安全対策につい
 て、平成24年に全国で登下校
 中の児童生徒が死傷する事故
 が相次いで発生したことを背
 景に、全国で通学路緊急合同
 点検が実施された。本市も点

検を行い、50カ所、緊急を要
 する通学路安全対策を行った
 ようだが、対策状況と結果は。

答 対策は、警察等に要望し
 ているものを除き、平成26年
 度中でほぼ終了した。

問 対策効果や検証は。

答 学校等に確認をしており、
 その後、苦情等はない。

問 合同点検実施を検討し、
 対策の実施、対策効果の把握
 対策の改善充実というように、
 繰り返し実施することで、通
 学路の安全向上を図ることは
 とても大切なことである。今
 年度より、また3年をかけ市
 内全域の通学路の合同点検を
 実施するが、点検内容と進捗
 状況は。

答 通学路の整備等は、各学
 校や地域からの要望を受け、
 関係機関が合同点検を行い、
 その対策を検討し実施してい
 る。昨年8月に、通学路の安
 全確保に向けた取り組みを継
 続的に行うため「榎原市通学
 路安全対策プログラム」を策
 定した。概要は、市内の小学
 校区16校を中学校ブロックご
 とに3グループに分け、それ
 ぞれ3年に1回、合同点検を
 実施する。今年8月に八木中
 ブロックの小学校5校の合同

点検を実施した。

問 今回要望に上がった数と
 内容は。

答 今年の合同点検で、全体
 で5カ所点検し、通学時に児
 童が横断する道路について、
 カラー舗装や巻き込みポール
 等の設置等の必要性を確認し
 た。実施は、関係課と協議中
 である。

問 各年度の点検結果や要望
 に対し、迅速かつ計画的に安
 全対策を行う必要がある。ど
 のような計画か。

答 整備が必要な箇所は、関
 係機関等と協議を行い、必要
 箇所に応じた具体的な実施メ
 ニューを検討する。軽易なも
 のはすぐ対応できるが、大規
 模なものは予算を確保し、順
 次整備していく。

問 対象ブロックではない地
 域でも、要望等が上がれば対
 応するのか。

答 実施年度以外のブロック
 についても、各学校から報告
 を受けた箇所は、関係機関合
 同で点検し、随時対策を実施
 する。

問 要望が上がっていきな
 くて、市としては、積極的に危
 険な箇所の調査をすべきと考
 えるが。

答 地域の見守り隊や保護者
 の方から直接連絡があった場
 合、まず担当が確認する。緊
 急を要する箇所は、関係課と
 随時現場確認をしている。

問 歩道と車道の区別がない
 など危険な通学路では、ドラ
 イバーに対して視覚的認識、
 車両の速度抑制のためグリ
 ンベルト及び交差点のカラー
 塗装など、設置していること
 ろがある。積極的に導入して
 はどうか。今後の方針は。

答 要望があれば、道路関係
 課と協議し、必要性を判断し
 対応したい。要件を満たす箇
 所は、予算的なこともあるが
 積極的に導入したい。

問 通学路と密接な関係にあ
 る生活道路のゾーン30につい
 て聞きたい。スピードの出過
 ぎ等で通学路に自動車が出っ
 込んでくる事故事例も多く、
 警察庁交通局から平成23年9
 月20日付で、ゾーン30の推進
 について通達が出されている。
 ゾーン30の内容と設置条件は。

答 公安委員会の判断により、
 エリアを定め制限速度を30キ
 ロとし区域内道路にグリーン
 ラインを設置するもので、設
 置要件は4点ほどある。区域
 の決め方は、交通量や交通事